

巻頭言

新たな技術の継承と発展の時代に入って



阪神高速道路株式会社 常務取締役
南部 隆秋

◆株式会社への期待と技術

私たちの会社が民営化されて、すでに一年以上が経過しました。

私たちにとって、それは「先進の道路サービスへ」向かって、とまどいながらも、与えられたスキームの中で、何を変えるべきか、何を変えずに堅持すべきかを懸命に考え、取り組んできた一年だったと思います。われわれがサービスを提供するものの基本は、安全、安心、快適な交通空間の提供であることには変わりはありません。しかし、取り組む姿勢と方向については変化が求められています。従来よりも強くコスト意識と結果が求められ、スピードが要求されています。厳しさが求められています。

この大きな変化の中でも、私たちの仕事が、技術によって支えられていることは確かです。橋梁、トンネル、土工、舗装、照明、換気、交通管理のための情報施設、機械、料金徴収施設等々。いずれも技術によって作られ、技術によって維持され、未来につながっていきます。私たちは、技術によってこの新たな時代の要求に応えていかななくてはなりません。

◆私たちに求められる技術

私たちに求められる技術は大変幅広いものです。調査、計画、設計、施工、維持修繕、料金徴収、情報提供などの技術から、交通解析、交通予測、採算性検討、さらには用地取得、苦情処理、広報、経理、契約などにいたるまでの技術が求められます。特に、地域社会の活動を支え、社会的な関心も大きいわれわれの仕事では、これらの技術をふまえ、ステークホルダーの方々に、的確に説明しご理解をいただき、コンセンサスを得ていく技術が要求されます。

工事の発注者の立場からも、受注者の方とは違う技術が要求されます。それぞれのコンサルタント、施工業者の方々は、専門分野においてはわれわれよりも高い技術力を持っています。われわれは、それらの個別の専門技術を理解し、コーディネートし、指揮し、納得していただいてプロジェクトを実現する技術力を持たねばなりません。オーケストラの指揮者は、バイオリン奏者やトランペット奏者ほど個別の楽器の演奏はうまくはないかもしれませんが。しかし、それぞれの楽器の特性、限界を理解した上で、個々の楽器の音色を聞き分け、奏者の能力を引き出し、全体を調和させて一つの曲を仕上げていくのです。われわれがこの総合的な技術力を発揮するためには、幅広い個別技術の理解と同時に、高い視点、広い視野、豊かな人格が強く求められることになります。

● 私たちの責任

道路は、人間の社会経済活動を支えるもつとも根幹的な社会資本です。五十年百年にわたって地域を支え、次世代に受け継がれていくものです。私たちにはそれを造り守り育てていく責任があります。特に、大都市内有料道路網の建設・管理・経営に関しては、われわれは世界で最も豊富な経験と技術の蓄積を持っているとって過言ではないでしょう。そして、われわれ以外に、このネットワークの建設維持発展のための技術に正面から取り組んでいく人間はいないので

す。

株式会社となった現在も、会社の維持発展のための基盤を今後ともしっかりと支えていくため、一層の地域の発展とお客様の満足を将来にわたって支えていくために、私たちの技術力をさらに高めていかなければなりません。

それは、同時に、私たち技術者の夢を実現するためでもあるのです。

(この文章は平成18年4月1日に社内で口頭発表した内容に加筆したものです)